



【本号のトピックス】

新年度に向けて／第23回大会案内／支部活動たより

新年度に向けて

森戸 光彦

本会理事長(鶴見大学歯学部)

東日本大震災から早くも1年が経過しました。復興には、まだまだ時間も資金も掛かると言われております。本学会としては、これから出来るだけの協力をしたいと考えております。

本学会は、会員数が2,500名を超え、何とか社会に積極的に貢献できる規模に近づいていると言えます。わが国の老年人口割合は上昇の一途を辿っており、既に24%に達したとも言われております。2050年代には40%近くにまで増加すると予測されています。比率だけではなく、実数も増加します。それに伴い、要介護高齢者や緩和ケアを必要とする人たちも増加します。一方で健康寿命を長くしようとする試みも行われています。

昨年度は、支部組織の立ち上げと専門医制度の本格実施という大きな事業が二つも同時に開始されました。この二つが加わることで、臨床系学会として形の上では整ったことになります。山根理事長時代には、法人化やそれに伴う規程の整備、法人に求められる民主的な運営、専門医制度に先がけての認定医制度の発足など、着実に整備してきました。今年度は、さらにそれらを充実させる年と位置づけております。それには、会員一人ひとりの意識の高揚と協力が欠かせません。是非ともよろしくお願い申し上げます。

また、学会としての社会貢献として、健康保険や介護保険への取り組みも休む間もないほど、そのニーズは日増しに高まっています。それぞれの委員会で精力的に関わってもらっています。それらの具体的内容は、つくばでの学会時に行われる総会で報告することになっており、9月に発行される予定の学会誌に掲載されます。必ず目を通して頂ければと存じます。

支部活動については、学会のホームページにすべて掲載されております。これまで、神奈川、徳島、鹿児島、愛知、愛媛、福岡、埼玉と続々と研修会が行われました。今年度もかなりの支部で企画が始まっています。認定医や専門医の認定に向けて大切な研修会ですので、会員のみなさんにおかれましては、時々ホームページをご覧になって参加して頂ければと思います。他支部からの参加がさらに支部活動を活発化することに繋がります。

本学会では、認定医を取得している会員のみが専門医試験を受けることができます。指導医の先生方に専門医を取得してもらわないと制度そのものが成立しませんので、現在、そのための試験を2回行い、5月には3回目の試験を行います。そして11月3日には、まさに正式な第1回目の専門医試験が行われることになっています。委員会で参考書を指定し、その内容に則した試験問題が作成されます。試験問題の作成も多くの先生方に加わって頂き、委員会でブラッシュアップを行い、試験に出題されることとなります。寄せられた多くの問題をジャンル別に分類して備蓄する作業にもとりかかります。この専門医制度は、医療法で認められている「専門医」としなくては意味がありません。それに向けていくつかのハードルがありますが、最大限の努力をしたいと考えております。

地球上でどこも経験したことのない「超高齢社会」を迎えた日本で、高齢者の歯科医療を支えるのは、本学会を措いて他にはありません。そのため、学術部門でのさらなる充実と臨床医に対する啓発活動が是非とも必要です。会員一人ひとりの認識と積極的な活動がこれからの長寿社会を支える基本となると信じております。

第23回学術大会企画行事のご案内

那須 郁夫
第23回大会長(日本大学松戸歯学部)

課題・一般演題とも多数の応募を頂戴し、感謝いたしております。ここでは、本大会の教育講演、特別講演、シンポジウムなどの企画についてご案内しましょう。

大会のテーマ「健康長寿に貢献する歯科医学」にちなんで、第1日(6月22日(金))の教育講演は、わが国の健康寿命研究の第一人者である齊藤安彦先生に「そもそも健康寿命とは何か」から、最近の健康寿命研究の動向まで幅広く取り上げていただきます。

ミニシンポジウム1では、咀嚼や嚥下の機能に大きな役割を果たす舌圧計測の研究者がこれまでの成果を報告します。学術委員会の企画です。

「社会保障と税の一体改革」が議論中です。1日目午後の特別講演1は、福祉国家として名高いスウェーデンの高齢者福祉について、在瑞30有余年、社会保障論がご専門の訓覇法子先生に、ご自身の経験を交えて分かりやすくお話していただきます。

職能団体としての地域歯科医師会は、ここへ来て「公益」団体としての役割が期待される存在になってきました。この場合、地域の人々に貢献すべき分野は「高齢者へのサービス」を抜きには考えられません。シンポジウム1では、高齢者医療・福祉を「公益」団体の活動にどのように組みこむべきか、熱い議論になると思います。

第2日(6月23日(土))午前は、歯科衛生士の皆さんに是非参加していただきたい企画です。ミニシンポジウム2では「口腔機能維持管理」を、シンポジウム2では「『複合型』介護予防事業」を取り上げました。両方ともこの4月の医療・介護保険同時改定の目玉として、たいへんホットな話題です。本学会の取り組みが国の制度として取り上げられ



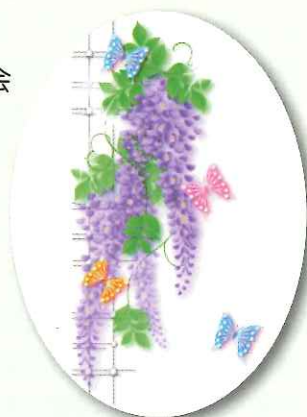
た好例でもあります。

特別講演2の鈴木隆雄先生には、国立長寿医療研究センター研究所長のお立場から、近著「超高齢社会の基礎知識(講談社現代新書)」に触れつつ、お手持ちの様々なエビデンスを基にした超高齢社会への対応方法についてのご講演いただきます。

続く市民公開講座は、会員の皆さんにも楽しんでいただけます。臨床経験豊富な、加藤元彦先生が講師です。先生は、昭和50年代から、すでに今日を予測していたかのように「噛むことと健康」の密接な関係を熱心に説いておられました。講座参加者には、先生ご発案の6月はじまり「健康かむ噛むカレンダー(口腔保健協会)」をプレゼントいたします。

では、6月につくば国際会議場でお待ちしています。

詳しい日程は、大会ホームページでお確かめ下さい。



支部活動たより

支部組織検討委員会

(共催)岐阜県支部共催セミナー

日時：平成24年5月27日(日)11:00～12:00
 会場：じゅうろくプラザ(岐阜市文化産業交流プラザ)
 〒500-8856 岐阜市橋本町1-10-11(JR岐阜駅隣
 接徒歩2分)
 テーマ：見直してみよう、歯科医療と福祉の役割
 講演：菊谷 武(日本歯科大学口腔介護・リハビリテーショ
 ンセンター)
 一般市民公開講座『いつまでも口からおいしく食べる
 ために』
 主催：第19回日本歯科医療福祉学会
 事務局等：朝日大学歯学部口腔病態医療学講座障害者歯
 科学分野(玄 景華;第19回日本歯科医療福祉
 学会大会長)
 Tel&Fax：058-329-1460(直通)
 E-mail：genkeika@dent.asahi-u.ac.jp

(共催)第11回北海道口腔ケア
セミナープログラム

日時：平成24年5月12日(土)12:00～16:30
 会場：北海道自治労会館
 札幌市北区北6条西7丁目
 内容：
 演者：阪井丘芳(大阪大学歯学部・大学院歯学研究科)
 『ドライマウスと嚥下障害』(仮)
 演者：越野 寿(北海道医療大学歯学部)
 『震災支援と口腔ケア』(仮)
 演者：柏崎晴彦(北海道大学大学院歯学研究科)
 『寝たきり高齢者のドライマウス』(仮)
 演者：伊藤郁子(砂川市立病院看護部)
 『急性期病院の口腔ケア、院内口腔ケア認定制度と
 口腔ケア』(仮)
 共催：日本老年歯科医学会北海道支部・北海道口腔ケア研
 究会
 後援：北海道医師会(予定)など
 事務局等：北海道大学大学院歯学研究科口腔健康科学
 講座・高齢者歯科学教室
 Tel：011-706-4582
 Fax：011-706-4582



(主催)岡山県支部セミナー

日時：平成24年6月17日(日)10:00～12:30
 会場：岡山大学歯学部 4階 第1講義室
 〒700-8525岡山市北区鹿田町2-5-1
 テーマ：在宅での食と栄養を多角的に考えるーPEG後の
 経口摂食への復帰アプローチなど多職種連携
 はいかにー
 主催：日本老年歯科医学会岡山県支部
 共催：病院歯科介護研究会、食介護おかやま、日本老年歯
 科医学会鳥取県支部、日本老年歯科医学会香川県支部
 演者：野原幹司(大阪大学歯学部附属病院)
 基調講演『在宅での摂食・嚥下障害への対応』
 演者：梶谷伸顕(独立行政法人自動車事故対策機構
 岡山療護センター)
 『NSTによる摂食・嚥下障害への対応』
 演者：佐藤幸枝(管理栄養士、特別養護老人ホーム みどり荘)
 『食べたい』を支援したい』
 演者：坂本綾子(介護支援専門員、看護師、居宅介護支援
 事業所くじば)
 『歯科との連携の問題点と課題』(仮題)
 事務局：岡山大学大学院医歯薬学総合研究科咬合・有床
 義歯補綴学分野(担当 児玉直紀)

(主催)2012年 高齢者歯科セミナー

日時：平成24年7月22日(日)13:00～16:40
 場所：松本歯科大学図書館
 参加費：2,000円
 テーマ：高齢者の歯周治療、補綴治療、摂食・嚥下リハを
 見直し、新しい展開へ
 主催：日本老年歯科医学会 中部北陸ブロック
 「地域での活動」
 演者：村上順彦(上伊那郡開業)
 『地域での実践と問題点』
 演者：奥山秀樹(浅間総合病院歯科口腔外科)
 『病院歯科での実践と問題点』
 「高齢者歯科医療を見直し、新しい展開へ」
 演者：松尾浩一郎(松本歯科大学障害者歯科学講座)
 『歯科は、どのように摂食・嚥下に対応すべきか』
 演者：吉成伸夫(松本歯科大学歯科保存学講座1)
 『高齢者への歯周治療を見直す』
 演者：水口俊介(東京医科歯科大学大学院医歯学総合
 研究科)
 『高齢者への補綴治療を見直す』
 事務局：松本歯科大学障害者歯科学講座

受付日

一般社団法人日本老年歯科医学会入会申込書

一般社団法人日本老年歯科医学会への入会をご希望の方は、下記に必要事項をご記入の上、FAX あるいは郵送にて、本会事務局までご送付下さい。なお、入会金および年会費(合計12,000円)は、銀行振込みあるいは現金書留のご都合の良い方法でご納入下さいようお願いいたします。銀行振込みでご納入いただいた場合には振込依頼書等のコピーを【編集後記】の欄に貼付の上、ご送付下さい。

入会金：2,000円、正会員会費：10,000円(4月～3月) * 年度途中から入会されても入会金、正会員会費に変更はありません。

* 銀行振込先：三菱東京UFJ銀行 駒込支店 普通預金 1296121 別口一般社団法人日本老年歯科医学会 代表理事 森戸光彦

<事務局> 〒170-0003 東京都豊島区駒込1-43-9 (財)口腔保健協会内 FAX: 03-3947-8341

会員 No.				性別		1	男	2	女	生年月日(西暦)		年	月	日								
氏名	フリガナ					姓				名				アルファベット(ローマ字・英語等の表記)								
	漢字																					
最終学歴		(学校名)				1	学部卒		卒業年(西暦)		年(卒・見込)											
						2	院卒															
勤務先	郵便番号	—				TEL						希望送付先		0	勤務先	1	自宅					
						FAX																
	住所																					
	勤務先名称																					
	※フリガナ																					
	Eメール																					
現住所	郵便番号	—				TEL						※Eメールのフリガナ例		ゼロ イチヨン ナ アイ エル オ								
						FAX								0 1 4 7 i l o								
	住所																					
	ビル名 気付等																					
	※フリガナ																					
	Eメール																					
日本歯科医師会 会員区分		0	会員でない		職種	0	歯科医師		4	保健師		勤務先	0	大学		1	病院		2	開業		
		1	会員である			1	歯科衛生士		5	看護師			3	その他()		3	その他()					
		2				2	歯科技工士		6													
		3			3	医師																
※年度末にお申込の場合、ご希望のご入会年度にレ印を付けて下さい。												☐ 年度内入会希望 ☐ 次年度入会希望										
※現在加入している他の学会名をご記入下さい。																						

* ご入会は学会 HP(<http://www.gerodontology.jp/form/form>)でもお申込み頂けます。

編集後記

News Letter Vol.7をお届けします。巻頭、森戸理事長が述べられているように、東日本大震災から1年が経過いたしました。復興にはまだまだ長い道のりが必要です。2,500名を超える本学会会員もそれぞれの立場で今できること、やるべきことを考え行動していくことが大切だと思います。本学会は昨年度より支部組織の立ち上げと専門医制度の本格実施に関する事業が開始されました。本News Letterでも主催、共催合わせて4つのセミナーの案内を支部活動たよりとして載せております。誌面が不足するような活発な活動が期待されます。専門医制度については11月3日の本格実施に向け、着々と準備が進められています。最後に第23

回学術大会の企画について那須大会長よりご案内いただきました。奮ってのご参加をお願いいたします。(岡崎定司)



発行人 森戸 光彦

編集 日本老年歯科医学会広報委員会

事務局 〒170-0003 東京都豊島区駒込1-43-9

駒込Tビル401 (一財)口腔保健協会内

電話 03-3947-8894 ファクス 03-3947-8341